

# よしみ

議会だより

平成28年  
6月定例議会

No.144

- 主な議案の内容
- 一般質問に8名登壇



永府門樋  
ふるさと歩道



永府公園



諏訪沼

水・風・時を  
体感するルート

P2~

P7~

水・風・時を体感するルート



西吉見南部土地区画整理事業により設置



えいふ  
永府公園

6月定例会は、6月7日(火)から9日(木)までの3日間の会期で行われ、専決処分の承認、町道路線の認定・廃止、平成28年度一般会計及び特別会計補正予算、人事案件など10議案が上程され、すべて承認、可決、同意されました。

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

●議案第38号

専決処分の承認を求めることについて  
(吉見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

内容

地方税法施行令の一部改正に伴う吉見町国民健康保険税の課税限度額の引き上げ及び低所得者の保険税軽減措置の拡充(施行期日 平成28年4月1日)

項目	細目	改正	現行
国民健康保険税の課税限度額	基礎課税額	54万円	52万円
	後期高齢者支援金等課税額	19万円	17万円
	介護給付金課税額	16万円(改正なし)	16万円
	国保税全体	89万円	85万円
軽減判定所得	5割軽減基準	被保険者等1人につき加算する金額を26.5万円	被保険者等1人につき加算する金額を26万円
	2割軽減基準	被保険者等1人につき加算する金額を48万円	被保険者等1人につき加算する金額を47万円

主な質疑

**問** 国保税の限度額引き上げの影響を受ける世帯数と割合及び影響額は。

**答** 46世帯で全体の1.36%。これにより、159万509円の増。

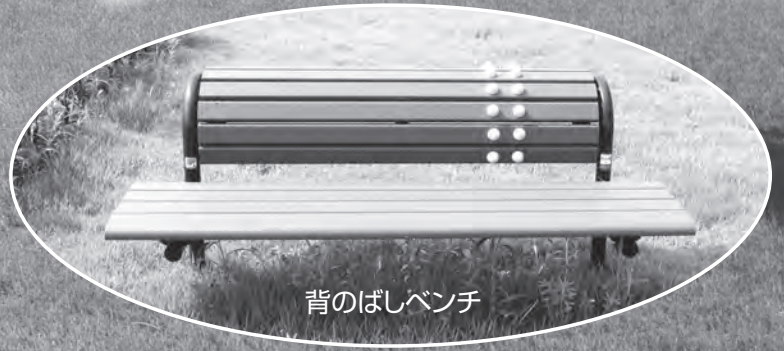
**問** 軽減の世帯数と割合及び影響額は。

**答** 446世帯で全体の13.23%。これに要する費用は102万8千円。

議員

提出者

# がオープン



背のばしベンチ

## 主な質疑

問

賦課限度額を4万円引き上げる根拠は。

答

被用者保険とのバランスを考慮し、段階的に賦課限度額引き上げが国において決定しているため。

問

軽減判定所得の見直しを行う理由は。

答

経済がゆるやかな回復傾向にある中、同一所得水準の方が軽減対象から外れないよう拡充したもの。

問

専決処分をしていない自治体がある中で、吉見町が行った理由は。

答

地方税法の目的に沿って早急に対応するため。

議員

提出者

## 反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

限度額の引き上げは3年連続で行われている。引き上げを行っていない自治体もある中で、住民負担に関わることを専決処分で行うことは認められない。

議員

小宮 榮議員

## 賛成討論

他の医療保険と同様、必要な費用は負担しなければ制度が成り立たない。一般会計からの繰り入れも行われている。限度額の引き上げは、負担できる人に負担していただくもの。低所得者の軽減対策も大きく図られている。

議員



●議案第41号 平成28年度吉見町一般会計補正予算(第2号)

内容

既定の予算額に1267万7千円を追加し、予算の総額を59億9997万9千円とする。

—主な歳入—

	(1万円未満切り捨て)
○国庫支出金	1816万円
○県支出金	226万円
○繰入金	△775万円

—主な歳出—

	(1万円未満切り捨て)
○旧北下砂保育園屋根修繕実施に伴う修繕料	50万円
○庁舎車庫棟雨漏り修繕工事	316万円
○県費単独土地改良事業(下銀谷排水路)	620万円
○舗装修繕工事(長谷、江口)	1320万円
○中学校修繕料(火災受信機)	185万円
○町民会館大型プロジェクター購入費	274万円
○給与費	△1222万円

主な質疑

問

旧北下砂保育園を修繕して物置として活用することだが、選んだ理由は。

答

4つの旧保育園は、1園が売却、2園は現在使用中である。除却予定の建物と距離が近いため。

問

庁舎車庫棟雨漏り修繕工事の内容は。

答

雨漏り修繕シート防水工の規模は171.3㎡。排水ドレーン修繕工3か所。太陽光発電設備の台基礎防水工36か所。附帯工一式です。

問

中学校の火災受信機修繕は、落雷による被害とのことだが、避雷針は設置されているのか。

答

普通教室棟と特別教室棟に設置している。

問

避雷針の点検は行っているのか。

答

行っていない。

問

大型プロジェクターが修理不能のため購入ということだが、耐用年数は何年なのか。

答

メーカー推奨の交換の時期では、5年である。

問

職員数が1名減で補正されているが理由は。

答

当初予算では、自己都合退職者分の人件費が計上されていたため。

議員

提出者

人 事

人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員の候補者に

おがわ よしい  
小川 好以 氏を

推薦(再任)しました。



吉見町大字久保田1527番地2  
昭和24年1月12日生

固定資産評価員の選任同意

固定資産評価員に

すがの あきお  
菅野 明雄 氏(副町長)を

任命同意しました。



吉見町大字小新井107番地  
昭和31年1月2日生

# 議案審議結果

## 町長提出議案

議案番号	件名	結果	岩田	戸谷	秋山	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	宮崎	杉田	小林	内野	小宮	安孫子
議案第37号	専決処分承認を求めることについて(吉見町税条例等の一部を改正する条例)	承認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第38号	専決処分承認を求めることについて(吉見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●
議案第39号	町道路線の廃止について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第40号	町道路線の認定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第41号	平成28年度吉見町一般会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第42号	平成28年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第43号	平成28年度吉見町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第44号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第45号	吉見町固定資産評価員の選任同意について	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

## 町長提出議案(追加)

議案第46号	平成28年度吉見町一般会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
—	吉見町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	推選	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

「—」は議長のため、採決に加っていません。

## 吉見町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

吉見町選挙管理委員会委員及び補充員の任期が平成28年6月30日で満了となるため、議長の指名推選により、下記の方の当選が決定しました。

### 選挙管理委員会委員



せきね よしゆき  
関根 義之氏

吉見町東野二丁目14番地12  
昭和23年10月30日生



よこた いちろう  
横田 一郎氏

吉見町大字久保田541番地  
昭和20年1月14日生



かね こまさお  
金子 正夫氏

吉見町大字南吉見1450番地  
昭和26年12月23日生



ますだ しんいち  
増田 伸一氏

吉見町大字一ツ木304番地  
昭和17年5月7日生

### 選挙管理委員会補充員

つの だけんそう  
角田 賢三氏

吉見町東野三丁目8番地8  
昭和15年3月13日生

おだか よしたろう  
小高 吉太郎氏

吉見町大字前河内336番地1  
昭和27年3月24日生

おい がわ きよし  
小井川 清氏

吉見町大字田甲450番地2  
昭和23年1月5日生

しみず けんじ  
清水 憲二氏

吉見町大字今泉399番地  
昭和23年1月29日生

# 総務建設常任委員会閉会中の 所管事務調査報告

総務建設常任委員会 | 杉田しのぶ 委員長

**期 日** 平成28年5月10日(火)  
**場 所** 東松山市役所3階会議室  
**調査事項** 東松山市デマンドタクシーの運営について

平成28年5月10日(火)に埼玉県内では初めて公共交通の仕組みを本格的に導入した東松山市のデマンドタクシーの運営について調査しました。

東松山市デマンドタクシーは、平成27年12月1日から運行を開始しています。

タクシー車両を使用しますが、バスのように乗る場所、降りる場所が決められており、途中下車や寄り道はできません。自宅前の乗車下車は可能です。電話で予約して利用します。運行日及び利用時間は月～土曜日までの8:30～17:00までです。日曜日、休日、祝日及び12月29日～1月3日までは運休となっています。

利用料金はタクシーメーターの料金別で3段階となっており、メーター料金2千円未満は利用料金500円。2千円以上3千円未満は千円。3千円以上は千500円で、障がい者、運転免許返納者は1割引となっています。

乗降ポイントは469か所設置されており、駅とバス停を除いてすべて市内です。市外の主なポイントは森林公園駅、つきのわ駅、武蔵嵐山駅、森林公園北口入口、冑山などで、その周辺地区に居住する住民の利便性を考慮して設置されています。

主な質疑は「年間の予算は」の質疑に対し、「1か月350万円を積算していますが、利用者、登録者と

も増加傾向にあるため、補正予算の必要もあると考えています。」との答弁でした。

「料金別の利用者、時間帯別の利用者、年代別利用者、それぞれの割合は」の質疑に対し、「約9割が500円の負担の範囲で利用しています。10時台、11時台、9時台の順に、午前中の利用件数が多くなっています。また、70歳以上が約7割で80代、70代、60代の順に利用者が多い状況です。」との答弁でした。



年々進みゆく高齢化の中、公共交通の果たす役割は今後さらに増大することが見込まれ、当町においても公共交通の空白地帯の解消を図るとともに、地域の実態に即した利便性の高い交通手段の確保が求められています。今後の地域公共交通の計画策定にも資する所管事務調査でありました。

## ■利用件数(タクシー利用メーター料金別)

(割引適用時は割引後料金)

単位:件

タクシーメーター料金	デマンド料金	件数	割合
～ 999円	500円	1,611	22.2%
1,000円～1,999円		4,845	66.6%
2,000円～2,999円	1,000円	723	9.9%
3,000円～3,999円	1,500円	88	1.2%
4,000円～		4	0.1%
合計		7,271	100.0%

## ■実利用者数(年代別・男女別)

単位:人

年代	16歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳～	90歳～	合計	割合
男	4	17	15	28	30	74	117	133	15	433	28.0%
女	11	26	42	51	75	162	361	359	27	1114	72.0%
合計	15	43	57	79	105	236	478	492	42	1547	100.0%
割合	0.9%	2.8%	3.7%	5.1%	6.8%	15.3%	30.9%	31.8%	2.7%	100.0%	

## ■利用件数(降車時刻別)

単位:件

降車時刻	件数	割合
8時台	325	4.5%
9時台	856	11.8%
10時台	1,196	16.4%
11時台	1,140	15.7%
12時台	770	10.6%
13時台	752	10.3%
14時台	763	10.5%
15時台	679	9.3%
16時台	701	9.6%
17時台	89	1.3%
合計	7,271	100.0%

# 町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

## 一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、お知らせしています。



## 避難所の現状は

▶▶ 日本共産党 岩田 晃一 議員

**問** 災害時、非難するときは家から一番近い避難所を使うことを想定しているのか。

**答** 緊急的に避難する場合を除き、行政区または学区を単位として使うことが原則。

**問** 大雨などにより堤防が決壊し、洪水が予想される時に、車の水没や陸の孤島となるのが分かっているながら、建物の3階部分を使うとした7避難所は現実的ではない。車で被害の及ばない知人宅や高台の避難所を目指すと思う。高台にある西が丘小学校の体育館は土砂災害危険区域となっているため、土砂災害時の避難所として指定されていない。あの谷をカンセイ脇の道路と同じ高さまで埋めて土砂災害危険区域を解除し、埋めた土地は車で避難する人の駐車場として使用してはどうか。

**答** 確かに西が丘小学校の体育館は崖の上に立って

いる状況なので、今後調査研究をして考えていく。

**問** 備蓄している賞味期限の切れる保存食や飲料水は、防災訓練や避難訓練での試食以外にも町民体育祭などの参加賞などで配布し、家庭で味見をしてもらうのはどうか。

**答** いずれにせよ有効活用していきたい。

**問** ペットについてはどう考えるか。

**答** 居住部分とペットの居場所は明確に区分する。

**問** ペットのために車中泊を選ぶ人もいるが、ペットを預かってくれるという家を事前に登録してもらい、速やかに避難させられないか。

**答** 普段から災害に備え、飼い主が事前にペットの食料・飲料水を用意して、いざという時に友人や知人など預けられる人を見つけておくことが大切。



西が丘小学校体育館



## 環境美化の推進を



» 神田 隆 議員

**問** ごみのポイ捨てにより道路や水路等にごみが散乱しています。町民の皆さんが、快適な環境の中で生活を送るには環境美化の意識が必要ですが、ごみゼロ運動等の活動への参加者状況は。

**答** 町民の皆様が地域の環境美化のため、ごみゼロ運動を含め年3回実施されている一斉清掃の参加状況は、平成23年度1万2915人、24年度1万4353人、25年度1万4102人、26年度1万3938人、27年度1万4180人で、各年度1回あたりの参加者の平均は約4600人の参加をいただいています。また、年3回の一斉清掃のほか、企業、ボランティアによる清掃活動が行われています。

**問** ごみポイ捨て減少に向けての取り組みは。

**答** ごみのポイ捨ては違反行為であるので、看板を設置し、注意喚起を行うとともに道路等にポイ捨てさ

れたごみを発見した場合は、回収に努めています。

**問** 使い終わった電池の廃棄方法によっては思わぬ災害や危険を伴うことがありますが、各種電池の廃棄方法は。

**答** 車などのバッテリーを除く、すべての電池を廃棄することが可能となっています。

**問** 現在ごみの収集日程表では、「ボタン電池は店頭回収にご協力ください」と表記されているが。

**答** ごみ収集日程表では、お知らせしていますが、ボタン電池も町の回収ボックスで廃棄できます。次に作成するときは、分かりやすい表現・表示にしていきます。

	世帯数	平成27年度実績(参加人数)		
		ゴミゼロ	夏一斉	年末一斉
東地区	1,774	1,091	1,075	1,040
南地区	1,257	861	776	866
西地区	3,606	2,330	2,260	2,090
北地区	952	654	636	501
合計	7,589	4,936	4,747	4,497

## 地域活性化対策



» 尾崎 豊 議員

**問** 川のまるごと再生プロジェクト事業の推進状況と今後の管理及び整備は。

**答** この事業は、平成25年度に着手され、平成28年5月に完成しました。本年度は、ふるさと創造資金を活用し、雑木の整理などを予定しています。今後の管理は土地改良区と管理協定を締結しており、施設を使用する団体に協力をいただきながら行っていきます。

**問** 国指定史跡、吉見百穴の整備の予定は。

**答** 吉見百穴の有料入場者数は、平成25年度の約4万8千人以降上昇に転じ、平成27年度は、約5万8千人となっています。引き続き周辺環境の整備と合わせ、百穴をはじめとした歴史や自然を生かした地域の活性化に努めたいと考えています。

**問** 菊のコミュニティ事業の後は。

**答** 平成26年度から3年間を目途に、その普及に取

り組んでいます。町の花の普及はふるさと意識の醸成につながりますので、機会を捉え推進していきます。

**問** 緑の募金緑化事業による整備の状況と今後は。

**答** 募金の一部が町へ還元され、町の公共施設等の緑化に活用されています。緑豊かな町づくりにも有効な事業であり引き続き取り組んでいきます。

**問** 吉見町の「今日は何の日」の発信を。

**答** 町の出来事や記録につきましては、毎月発行の広報よしみに掲載しています。

**問** 今後のスポーツ少年団の取り組みは。

**答** 現在6種目13団体が活動しています。232名の登録者がいます。今後も協力し、側面から支援します。



大沼の整備





## 地震時の火災を防ぐ 感震ブレーカーの 普及促進を

» 公明党 秋山 真美 議員

**問** 地震の揺れを感知して電気の供給を自動的に遮断する、感震ブレーカーの普及促進の考えは。

**答** 地震発生時の住宅火災を未然に防ぐ対策として効果的な防災機器で、町全体の防災力の強化につながるものと思う。今後は、町民への周知に取り組む。

**問** 普及促進は電気火災から命や家を守り、近隣への延焼も防ぐ。設置費用の助成制度を設ける考えは。

**答** 県内の自治体ではまだ実績がない。設置助成など減災対策への動向を把握していく。

**問** 安全・安心メールの登録状況は。

**答** 本年4月から運用を始め、5月末で194名。

**問** 安全・安心メールの大きな利点は、登録さえしてあれば、どこにいても受信ができること。また、災害発生時にも有効。小中学校の保護者への登録の働きかけを。

**答** 保護者への働きかけは、子ども達の安全を守るため有効な手段と考える。前向きに検討する。

**問** 防災無線が放送されたことに気づきにくい聴覚障がい者や難聴者への登録の働きかけを。

**答** 継続した情報提供を関係課と連携協力し行う。

**問** 観光振興として、案内板や観光案内などの多言語化の考えは。

**答** 町を訪れる外国人観光客の利便性が高まるよう、案内板などの多言語表記の調査研究をする。

**問** 新生児聴覚検査の公費助成の導入の考えは。

**答** この検査により難聴児を早く発見し、早期に療育を始めることでコミュニケーション能力の形成や言語発達の面で大きな効果が得られると認識している。県内市町村の状況も注視しつつ、調査研究する。



## 定住化促進への 対策は

» 荻野 勇 議員



**問** 町内から若年層の転出が減少するような、環境整備にどう取り組んでいくのか。

**答** まち・ひと・しごと創生総合戦略策定時に実施した若年層を対象としたアンケートにおいて「町内で買い物ができる場所がほしい」「公共交通を充実してほしい」との意見が寄せられた。この2大ニーズの希望を叶えるとともに、その2つを融合し、子供から高齢者までが利用でき、若い世代が将来に不安を感じず暮らし続けることができる環境を整えることが、転出抑制につながると考えます。

**問** 買い物が近くでできる生活環境の整備は。

**答** 総合振興計画の土地利用構想に位置づけられている道の駅周辺エリアで、町の核として買い物エリアの整備の可能性について検討をはじめます。また町民のスムーズな移動をめざした町民行動基本計画を策

定中です。この計画によって整備される公共交通ネットワークを活用し、町の各地区から不便なく移動できる環境の整備に取り組んでいきます。

**問** 県道東松山鴻巣線の第3期重点整備区間の4車線化整備が予定されているが、商業用地の立地とまちづくりの方針は。

**答** 埼玉県は東松山鴻巣線の久米田交差点から道の駅までの区間4車線化整備目標年度を平成33年度と発表。町では4車線化に併せて沿線の土地利用の活性化を図ることを計画しています。1つの施策として商業立地環境を整えることも考えています。



4車線化が待たれる  
東松山鴻巣線(久保田地内)

その他の質問  
・5年後の農業のあるべき姿にどう導いていくのか等、今後の農業施策について。

## 将来に向かって 商業の発展で「にぎ わいのある街」創りを

» 小林 周三 議員



**問** 吉見町においても、人口減少が続く中、店舗の減少が続ぎ、商店街もなく賑わいが薄れて活気がなくなっている。そこで商業の振興を図るための施策については。

**答** 平成27年度、国の経済対策の一環として「プレミアム付き商品券」を発行し、商業の発展を目的として、町内の消費喚起を行った。取扱店や消費者からは「新規顧客につながった」「近所の店の良さが分かった」などの意見があり、この事業の効果が継続するものと考えている。また、町商工会では「消費・需要アンケート調査」を実施しており、町内の消費動向等の重要な指標が示されている。

**問** 町の賑わい拠点については。

**答** 「道の駅いちごの里よしみ」が平成27年1月に国の『重点道の駅候補』に選定された。重点道の駅への

格上げを目指し、町の6次産業化やコミュニティ活動などを含め、町民生活の核となる施設として、引き続き多くの町民に利用される施設に整備していく。

**問** 町の特産品開発とその生産が町内で行える支援を。

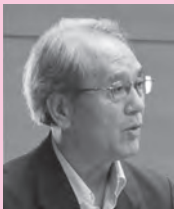
**答** 平成25年からお土産スイーツの開発を手掛けてきている。昨年10月には埼玉県で初めて「ふるさと名物応援宣言」をして広くPRしている。現在加工品は、ほとんどが町外企業で製造されているので、吉見いちごによる6次産業化で地域の振興を図るためにも、いちごの冷凍や加工品製造を町内で行うことが理想である。その体制について、農業や商業の関係団体と連携し、調査研究していく。



道の駅 いちごの里よしみ

## 東野ふれあいセンター に洋間を

» 戸谷 照喜 議員



**問** 東野ふれあいセンターには洋間（テーブルと椅子のある部屋）がない。したがって、会合となれば重い長机を収納庫から引き出し、座ぶとんを敷いてやらねばならない。生涯学習センターとしての基本機能に欠けていると言わざるを得ない。せいぜい20人から30人が座れる洋間を早急に作ってほしい。

**答** そのような要望は今まで聞いたことがない。町民の皆さんは満足してお使いいただいているものと思っている。

**問** 現状認識が大きくちがう。現在の利用者のほとんどは運動系または体育系のグループだ。そのような方々には問題はないと思うが、勉強会や講習会、各種サークル活動には向いていない。膝や足腰が痛くなって長い時間は座ってられない。設計段階で住民の声を聞いていないのではないのか。

**答** 建設時の資料は残っていないが、住民の方の意見は聞いているはずだ。

**問** 東野ふれあいセンターのように今どき畳の部屋しかない生涯学習センターは珍しい。「第五次吉見町総合振興計画」（後期基本計画）によれば今後5年間に町は、生涯学習施設について利便性を図るため、計画的な修繕や改善を行うと町民に約束をしている。

**答** 地域コミュニティの拠点として、利用者の利便性の向上のため努力をしたい。

**問** もともと公民館は利用料なしの時代があった。ふれあいセンターも合わせて今や無料にすべきだ。それが住民サービスではないのか。

**答** 受益者負担の原則があり、利用するには応分の負担をいただいている。ご理解をお願いしたい。



東野ふれあいセンター



## 繁茂した雑木への対策を



▶▶ 日本共産党 杉田しのぶ 議員

**問** 雑木が伐採されない理由としては、地権者がいる場合と不明の場合とがある。

地権者の中には、経済的理由ですぐには対応できないという人もいます。そういう場合は、毎年少しずつ伐採してもらうように約束をしたり、複数の地権者の雑木の伐採をまとめて業者に依頼し、なるべく費用が少なく済むように町が調整したり、融資制度を作ったりと、課題となっている事案に対する対応策を町として考えてほしいが、見解は。

**答** 少しずつ計画的に伐採してもらう、融資制度等も一つの手なのかもしれない。今後研究したい。

**問** 地権者が不明の場合についての対応策。例えば町で計画的に予算をつけて伐採をする。あるいは、行政区へ補助金を出して、行政区主体で伐採をする等具体的な対応策を示してほしい。町長の見解を。

**答** どのような木でも地権者はいるはずなので、持ち主に言うのが町の立場。しかしながら、危険が迫っているような状況があれば、いつでも町の方で対応するので、状況を話していただきたいと思う。

**問** 重度心身障害者医療費の窓口払いの廃止を。

**答** 今後検討していきたいと思う。

**問** ひとり親家庭医療費の窓口払いの廃止を。

**答** 同様に検討していきたいが、平成23年に子ども医療費の窓口払いを廃止したが、少子化で対象者が減っているにもかかわらず、医療費が増えている現状があるため、よく検証して検討したい。

**問** 違反な盛土行為を未然に防ぐとともに、違反を繰り返させないために、既存の条例の強化を。

**答** 時代の変化に合わせて、実効あるものにしていく。



雑木

## 一 部 事 務 組 合 報 告

### 埼玉中部環境保全組合議会定例会

▶▶ 小林 周三 議員

日 時 平成28年5月24日(火) 午前9時から

場 所 埼玉中部環境センター議場

出席議員 尾崎豊 荻野勇 杉田しのぶ 小林周三

平成27年度の管内のごみ量は、可燃ごみ3万5,353.59t、粗大ごみが1,172.22t、合計3万6,525.81tであり、平成26年度と比較して可燃ごみ67.24tの減、粗大ごみ13.76tの減、合計81t、0.22%の減であり、平成13年度から減少となっています。

このほか、坂戸市から2,314.99t、大里広域市町村圏組合から2,577.87t、小川地区衛生組合から245.24tの可燃ごみを受託処理しています。

灰の処分は、4,320.72t全量をセメント原料として委託処理しています。

昨年提訴された措置請求に対する住民訴訟については、本年2月29日に第2回弁論準備、3月29日に第3回弁論準備、5月19日に第4回弁論準備が行われて

いますが、原告の論点整理で実質審理には入っていないとのことです。

施設の運転管理、維持管理業務については、順調であるとのことです。

#### 付議された議案

○議案第4号 専決処分の承認を求めることについて(埼玉中部環境保全組合議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例)

○議案第5号 専決処分の承認を求めることについて(埼玉中部環境保全組合特別職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例)

○議案第6号 専決処分の承認を求めることについて(平成27年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算 第3号)

いずれも原案のとおり承認されました。

## 吉見町水防訓練

平成28年5月28日(土)、一ツ木地先の荒川右岸堤防で実施。町民の皆様とともに議員も土のうづくり、土のう積み訓練に参加しました。また、国土交通省により、降雨体験車の試乗や災害対策用車両の展示が行われました。



### 表紙の題字



**松本 永之(のりゆき)さん** 東野在住 68歳  
 本年4月27日、吉見町体育協会会長に就任。22歳からバレーボールの指導者として活躍され、現吉見町バレーボール連盟会長。日課は、愛犬との早朝ウォーキング。

## 町議会を 傍聴してみませんか



次の議会は**9月定例議会**  
 8月31日(水)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。

**TEL 0493-63-5024**(直通)

### 表紙の写真によせて



城南産業団地内(ベルーナ・プロロジス・GLP)にある永府公園へ通じる周遊ルート。川のまると再生プロジェクトにより整備された用水路沿いには散策スポットがいっぱい。

## 編集後記

7月10日に行われた参議院選挙では、国政史上初めて18歳からの投票となりました。吉見町では421名の新有権者が誕生しました。新しい社会を作っていくのも、そして吉見町の将来を担っていくのも、もちろん若い世代です。

ケネディ大統領ではありませんが、「町が何をしてくれるか」ではなく、「町のために何ができるか」の視点で考えてみませんか。町議会へのご意見、ご要望をお寄せください。(戸谷)



### 議会だより編集特別委員会

委員長	秋山 真美
副委員長	杉田 しのぶ
委員	荻野 勇
委員	尾崎 豊
委員	戸谷 照喜
相談役(議長)	安孫子 和子

この議会だよりは再生紙を使用しています。